

【重要】投稿規程の一部改正：プレプリントサーバー掲載論文の投稿の受付開始

2023年5月吉日

公益社団法人日本水産学会編集委員会

このたび編集委員会では、オープンサイエンス化と情報公開の迅速化が進む国際事情に対応するため、*Fisheries Science* と日本水産学会誌においても、既にプレプリントサーバーで公開済みの内容を含む論文についても投稿を認めることにしました。

編集委員会では、これまでプレプリントサーバーで公開された内容を含む論文は、発表済みのものとみなし、*Fisheries Science* と日本水産学会誌への投稿を受け付けてきませんでした。しかし、プレプリントサーバーに査読前の原稿を掲載することが研究者の間で浸透しつつあり、これを受けて各出版社の学術雑誌も、それらの原稿に対しオリジナルとしての投稿を認める風潮になってきています。その様な状況下、従来の投稿規程では、プレプリントサーバー上で公開された内容を含む優秀な論文が、*Fisheries Science* および日本水産学会誌に投稿されなくなる事を危惧し、今回の投稿規程の改正に至りました。

ただし、科学分野では許容されていない二重投稿や重複出版は、今後も日本水産学会としては認められないところです。そのため、著者の皆様におかれましては、プレプリントサーバーに掲載済みの内容を含む論文を投稿される場合は、その旨を申告し、掲載先を提示していただくようお願いいたします。また、プレプリントサーバーでの公開内容などを編集委員会で精査させていただき、場合によっては *Fisheries Science* または日本水産学会誌への掲載をお断りすることもあることをご理解ください。

以下に本件に関連する投稿規程の改正部分について解説しますので、*Fisheries Science* または日本水産学会誌への投稿をご検討されている方は、ご一読ください。

Fisheries Science／日本水産学会誌共通：投稿規程における改正点

<https://www.miyagi.kopas.co.jp/JSFS/PUBS/KITEI/toukoukitei.html>

プレプリントサーバー掲載論文の受付開始に伴い、投稿規程において、以下のように基本方針を定めています。

2. 報文は原著で、他の刊行物に発表されていないものにかぎる。
- 2) ただし、科学コミュニティにより認知されているプレプリントサーバー上で公開した内容を含むものについても投稿を認める。その場合、責任著者はその公開先を新規投稿時に申告しなければならない。当該原稿については編集委員会において、公開先と公開内容を精査の上、査読の可否を決定する。投稿時に申告がなく、後から公開済みの事実が判明したものに関しては、編集委員会の判断により審査を中止または掲載を撤回する場合がある。なお、査読を経て修正された原稿、出版のために受理された原稿、本誌に掲載された原稿は、プレプリントサーバーに掲載してはならない。また、本誌に掲載された原稿へのリンクをプレプリントサーバーに掲載することを求める。

- ・プレプリントサーバーに公開済みの内容を含む原稿の場合、新規投稿時に公開先を申告すること、
- ・投稿時に申告がなく、公開済みの事実が後で判明した場合は、審査中止または掲載撤回になる可能性もあること、
- ・Fisheries Science または日本水産学会誌での掲載が決まった原稿を、基となる原稿を公開したプレプリントサーバーに掲載してはいけないこと、代わりに当該プレプリントサーバーに、Fisheries Science または日本水産学会誌の論文抄録ページへのリンクを掲載すること、

以上の3点についてご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

そして、具体的な手続きについては、投稿先の雑誌それぞれの規程に従って対応してください。下線部が改正された部分です。

Fisheries Science: Instructions for Authors における改正点

<https://www.springer.com/journal/12562/submission-guidelines#Instructions%20for%20Authors>

Manuscript submission

Submission of a manuscript implies that

- ・ the work described has not been previously published elsewhere
- ・ it is not under consideration for publication anywhere else
- ・ its publication has been approved by all co-authors, if any, and by the responsible authorities - tacitly or explicitly - at the institute where the work was done. The publisher will not be held legally responsible should there be any claims for compensation in this regard. Authors whose first language is not English are urged to have their manuscript read by a colleague who is a native English speaker and is familiar with their field of work before submitting.
- ・ work already posted, either partially or in whole, on a preprint server before being submitted to this journal may be considered for publication, provided that the author agrees to: 1) declare the server URL and DOI of the article published on the preprint server, and to add a brief explanation disclosing the details of preprint posting in the submission cover letter, 2) accept that the Editorial Board may decide to reject the work for publication after investigating the status of the preprinted work or determining that the author did not disclose details on preprint posting at the time of initial submission, 3) not publish any manuscript file under review or accepted for publication in this journal on any preprint server, and 4) update the preprint record with a publication reference, including the DOI and a URL link to the published version of the article once it is available online.

プレプリントサーバーに公開済みの内容を含む原稿の投稿時の要点は、以下の4つです。

- 1) プレプリントサーバー掲載論文の全体または一部が投稿原稿に含まれている場合は、当該プレプリントサーバーの URL と掲載論文の DOI、および記述内容について簡単な説明を新規投稿原稿に付けること、
- 2) プレプリントサーバーでの掲載内容を精査した結果、または新規投稿時の申告漏れを見つけた場合には、編集委員会の判断で投稿原稿の掲載を見送ることがあることを承諾すること、
- 3) Fisheries Science での審査中および受理後の原稿を、プレプリントサーバーに掲載しないこと、
- 4) Fisheries Science に論文が掲載された後は、その論文 DOI と電子版の抄録ページ URL を、基の原稿を公開したプレプリントサーバーで公開すること。

なお、プレプリントサーバーに掲載された論文を引用する際は References には記述せず、本文中で引用してください。下の例のように括弧書きで、プレプリントサーバーの名称と論文 DOI, 掲載日を記述します。

例： (arXiv: <https://doi.org/10.48550/arXiv.2301.0xxxx> / “Submitted 17 January 2023”)

References

• Reference list

The list of references should only include works that are cited in the text and that have been published or accepted for publication. Personal communications, unpublished data, and online documents or databases including papers published on a preprint server should only be mentioned in the text as follows: (Watanabe H, pers. comm., 2000); (Suzuki A and Kato Y, unpubl. data, 2000); (SDBSWeb: <http://riodb01.ibase.aist.go.jp/sdbs/> “Accessed 22 Feb 2000”); (arXiv: <https://doi.org/10.48550/arXiv.2301.0xxxx> / “Submitted 17 January 2023”). Do not use footnotes or endnotes as a substitute for a reference list.

日本水産学会誌：「原稿の書き方」における改正点

<https://www.miyagi.kopas.co.jp/JSFS/PUBS/KITEI/write.html>

日本水産学会誌でも、プレプリントサーバーに公開済みの内容を含む原稿を投稿する際の要点は Fisheries Science と同様です。

Fisheries Science の Instructions for Authors に記されていた新規投稿時の条件のうち、2~4) については、【投稿の条件】の項目で「投稿資格は公益社団法人日本水産学会 投稿規程に拠る。」と定めているので、「原稿の書き方」での記述は省略しています。

投稿の条件

投稿資格は公益社団法人日本水産学会 投稿規程に拠る。加えて、著者は以下の説明に従って原稿を作成し、出版に関して適切な対応を取ることを条件とする。

(中略)

本文

1 ページ目

1 ページ目 (表紙ページ) は、上から順に、タイトル、ランニングタイトル、著者名、所属、英文タイトル、英文著者名、英文所属および所在地を下の例にならって記載する。プレプリントサーバーにおいて既に発表した研究を含む内容の場合は、脚注に、プレプリントサーバーの URL, 当該論文の DOI およびプレプリント公開内容の概要説明を加えること。

タイトル：(説明省略)

ランニングタイトル (短縮題名)：(説明省略)

著者名：(説明省略)

所属および所在地：(説明省略)

プレプリントサーバー URL, 当該論文の DOI および公開内容の説明

1 ページ目例)

漁獲ストレスを受けたゴマサバの短期蓄養によるストレス回復

ランニングタイトル：ゴマサバの短期蓄養によるストレス回復効果

保 聖子, ^{1*} 杉田 毅, ² 鶴田和弘, ^{1a} 福田 裕, ³ 木村郁夫⁴

¹鹿児島県水産技術開発センター, ²(国研) 水産研究・教育機構 増養殖研究所, ³同 水産大学校, ⁴鹿児島大学水産学部

Recovery from stress of spotted mackerel *Scomber australasicus* by short resting in a fish cage after capture stress treatment

SEIKO TAMOTSU,^{1*} TSUYOSHI SUGITA,² KAZUHIRO TSURUDA,^{1a} YUTAKA FUKUDA³ AND IKUO KIMURA⁴

¹Kagoshima Prefecture Fisheries Technology and Development Center, Ibusuki, Kagoshima 891-0315, ²National Research Institute of Aquaculture, Fisheries Research and Education Agency, Minami-Ise, Mie 516-0193, ³National Fisheries University, Fisheries Research and Education Agency, Shimonoseki, Yamaguchi 759-6595, ⁴Faculty of Fisheries, Kagoshima University, Shimoarata, Kagoshima 890-0056, Japan

* Tel : 81-993-27-0000. Fax : 81-993-27-0000. Email : oooooo@pref.kagoshima.lg.jp

^a 現所属：鹿児島県鹿児島地域振興局 (Kagoshima Prefecture Kagoshima Regional Promotion Bureau, Kamoike-Shinmachi, Kagoshima 892-8520, Japan)

プレプリントサーバー掲載済み論文：<https://doi.org/10.51094/jxiv.2XX>. ○○実験の2019年から2021年の結果を発表済み。本稿の結果部分の「○○」の項目および関連する考察の内容に含まれる。

インターネット上の公開データベース等の引用について

公設研究機関等がインターネット上に公開しているデータベース等を引用する際には、本文中の関連箇所には、引用したサイトが指定している表記法に従って URL 等をカッコ内に記述する。プレプリントサーバー掲載の論文についても、同様に扱う。

例えば、有機化合物のスペクトルデータベース SDBS の場合は次のような表記法が指定されている。

SDBSWeb : <https://sdb.sdb.aist.go.jp> (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, アクセスした年月日)

したがって、SDBS の引用は本文中で以下のように記述する。

例) ...得られた物質の IR スペクトルを SDBS のスペクトル(SDBSWeb:<https://sdb.sdb.aist.go.jp>, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, 2008年4月17日*) と比較することにより同定を行った。

*プレプリントサーバーの場合は、掲載日を記述すること。

以上、よろしくお願ひ申し上げます。

ご不明の点は学会事務局 (fsjpubl@dl.dion.ne.jp) までお問い合わせください。